

令和2年度 第1回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：令和2年7月28日（火）

10:00～12:00

場所：えびなこどもセンター201会議室

【出席者】

委員	井澤委員、小俣委員、加藤委員、北川委員、栗山委員、中谷委員、中野委員、橋本（絵）委員、橋本（瑞）委員、山田委員
事務局	伊藤教育長、伊藤部長、山田課長、足立原係長、小菌主幹、橋本主任主事
指定管理者	高橋氏、酒井氏、平賀氏

【社会教育委員の役割について】

事務局：社会教育法、海老名市社会教育委員条例、海老名市社会教育委員会会議規則について説明

【議長・副議長の選出】

議長 … 山田委員

副議長 … 橋本（絵）委員

【議事】

- (1) 有馬図書館及び門沢橋コミュニティセンター大規模改修工事について
配布資料に基づき事務局が説明

～質疑応答～

委員：有馬図書館の改修にあたり、市民からの意見等は伺っていますか。

事務局：有馬図書館に設置してある意見箱「Your Voice」や窓口にてご意見を伺っています。また、近隣自治会からの要望書や年に一回行っているアンケート調査などから市民意見の収集を行っています。

委員：新型コロナウイルス感染症の影響で工期が延びることがありますか。

事務局：現時点では5月1日リニューアルを予定しています。

委員：有馬図書館の蔵書数、平均の一日の利用者数などわかる範囲で伺いたい。

事務局：年間のデータにはなってしまいますが、蔵書数は約10万冊で、平成30年度の来館者数は10万4132人、貸出冊数については10万7970冊です。

- (2) 中央図書館における新型コロナウイルス感染症対策について
配布資料に基づき指定管理者が説明

委員：iPadの利用状況や除菌の対策などについて伺いたい。

指定管理者：iPadについては1時間の時間制限の中で貸し出しを行っています。新型コロナウ

ウイルス感染症の状況の中にありますので、以前よりは利用率は下がっています。除菌の対策については、貸出時と返却時に消毒しています。

委員：図書館という不特定多数の方が来られる施設として、感染予防対策は大変だと思います。その中で、感染者を出していないということは素晴らしいことだと思います。今後の除菌対策の中で、学習室について時間を決めて職員が除菌するというお話があったが、利用者の方にも除菌のご協力をお願いするのはいかがでしょうか。学校でも自分の机は自分で拭くなどしています。強制力はもちろんないかもしれませんが、みなさんで気持ちよく使う取り組みを行ってもいいと思います。

委員：コミュニティセンターを利用する際など自分たちが利用した後は、除菌の道具を持って行って除菌を行っています。新しい生活様式が進められる中であるので、図書館の利用者の新しいマナーとしてお願いすることが良いと思います。

委員：除菌を職員が行う場合、どの程度の時間を考えていますか。他市のスポーツセンターを利用した際に、3時間の利用のうち1時間除菌作業で利用できないことがありました。もちろん、自分で使った場所を自分で除菌するというのは賛成ではありますが、事情によりできない場合があると思います。

指定管理者：30分くらいを想定しています。ただ、30分程度になると、学習室の周りで待ちの行列ができる可能性があり、新たな密ができてしまう危険性もありますので、運用は検討しています。

委員：利用者に除菌作業を行っていただくということがベストだと思います。利用者にも除菌の習慣がつくし、職員の除菌作業の時間の削減もできます。机の上に、除菌道具をおいておき、利用者に行ってもらうことを一度試していただきたい。難しいようであれば再度検討していきたい。

委員：ガイドラインは作っていますか。

指定管理者：県のガイドラインをもとに作っています。

委員：利用者の名簿は作っていますか。

事務局：全員の名簿は作ってはいませんが、県の「Line コロナお知らせシステム」の利用を促し、感染者が発覚した際の対策は行っています。また、スマホ等の利用のできない方で、申し出がある場合には来館の記録を取っています。

委員：有馬図書館の工事で、中央図書館へ利用者が流れているという状況はありますか。

指定管理者：今のところはつきりは見えていません。しかしながら、予約図書を受取場所を中央図書館へ変えた方もいらっしゃると思いますので、ある程度の人数の影響はあると思います。

事務局：補足させていただきますと、予約図書を受取場所として、東柏ヶ谷小学校の市民図書室、障がい者支援センターあきば、えび〜にゃハウス、また、今年度から国分寺台文化センターの取次を開始しました。

議長：まずは、図書館という不特定多数の方が利用される施設で、感染者を出していないということは素晴らしいことだと思います。引き続き感染対策を行う上で、委員から出た意見を取り入れていただく方向で進めてよろしいか伺います。

委員：異議なし。

議長：それでは、頂きましたご意見をもとに感染対策の検討を進めていただければと思

います。

事務局・指定管理者：了解しました。

(3) 社会教育計画について

配布資料等に基づき事務局が説明

～質疑応答～

委員：現状だと、「えびなっ子いきいきシンポジウム」に100人集めるのも多いかもしれない。

事務局：状況を見ながら検討してまいります。

委員：「海老名を好きになる子」という取り組みの中で、自分の住んでいる地域以外の場所を知るということは大事だと思います。学校教育だけでは、各小学校区以外での取り組みがなかなか難しい。

委員：方向性については理解しましたが、新たな社会教育計画を子どもたちに知っていただく機会をどのように向けていくかなど具体的にどのようにやっていくかが分かりません。

事務局：社会教育団体の活動中に子どもたちに広げていただくことを考えています。そのために、シンポジウムを開催し、まずは社会教育団体に広めていきたいと思っています。

事務局：学校応援団やあそびっ子など学校を中心とした活動は根付いてきています。しかしながら、子どもたちの社会教育がそれだけでよいのかということではありません。海老名市には、ボーイスカウト・ガールスカウト、スポーツの活動や文化の活動が行われていますが、子どもたちがそれらの活動を知る機会というのは少ない。まずは知ってもらうために「社会教育団体のしおり」を作成し、子どもたちに配りたい。しおりがあれば、子どもが気になった活動を自分で見て探すことができます。

そういった取り組みがあり、社会教育団体に子どもたちが集まったとしても、次は社会教育団体ごとに子どもたちの育て方の方向性が違うことになってしまうので、その方向性をそろえるためにシンポジウムを開催し、社会教育団体に対し、海老名の子どもたちの育て方の方向性を示したい。

また、社会教育団体も子どもたちの獲得が難しくなってきました。しおりに掲載することで、団体の活動の周知にもつながると考えている。